

問 公害測定等委託業務箇所
の追加はできないのか。

答 杭瀬川の5箇所を含め一級河川の12箇所です。1年に2回実施しているが、必要条件が整うならば業務箇所の変更も検討していきます。

問 池田町斎苑の業務体制と今後の方針は。

答 現在1年間に140件程の利用があり、欠員分の業務の業者委託を検討している。当分の間は1日1件の火葬受付とし、区長連合会で説明し理解を求めたい。

問 文部科学省の新学習指導要領案では、平成31年から小学校の英語教育に重点が置かれるが人的な準備は。

答 英語が教科化されてくるので、平成29年度1名を町単独で採用し、次年度も1名を増員する計画がある。複数で各小学校に出向き会話を中心とした英語力を高めたい。

問 平成25年に、いじめ防止対策推進法が制定され、教

職員の研修に活用されているのか。池田町でいじめの現状は。

答 各学校には、いじめ防止基本方針があり、研修は教員がいじめを早期に発見し、いじめに対応し、未然に防ぐことを目的に年度初め、夏休み中や事案毎に開催している。いじめは今年で16件の事案があるが、教育委員会は各学校と連携を密にして情報共有している。仮に大きな事案があれば第三者委員会の判断を仰ぐ。

地方創生特別委員会

問 池野駅駅舎を改修した霞溪舎の増築部分の北側は、既設建物と平行であるが面積変更したのか。

答 増築面積は10平方メートルで変更していない。へこんでいる箇所はプロパンガス置き場でホーム側の既設ブロックを塗装して違和感が出ないように施工した。



霞溪舎カウンター付近

問 まちづくり及び教育コーディネーターの人数とプロジェクトの関わりは。

答 教育コーディネーターが2名、まちづくりコーディネーターは1名である。まちづくりコーディネーターについては、駅舎づくりと街明かりのワークシoppに集中して、全プロジェクトとの関わりは厳しくなった。

問 12プロジェクトのうち評価が低かった理由とプロジェクトによる町外への情報発信はできないのか。

答 「まちづくり工房プロジェクト」では運営体制や

資金支援に不安を抱かれた意見や「〇和プロジェクト」では「いけ婚」の参加者からスポーツでは会話がづらい、との意見があった。情報発信について新聞掲載では広がらないと感じている。事業に関わった方から友人等への口伝えも大切である。

問 広域連携によるレンタサイクルトレイン利用者の感想は。

答 アンケート意見は「天空の茶畑の入口が解りづらい」「食べ物美味しかった」「マチュピチュクーポン利用の店舗が定休日であった」など。体感的には「岐阜のマチュピチュ天空の茶畑」の景色に驚かれ、アンケート用紙を出された半数以上の方は、養老鉄道の利用者である。

問 地方創生プロジェクト事業数は当初に比べ、「移住定住に向けた空き家の活用」「子育て・就労応援センターの整備」などで手広

くなっているが、将来、各プロジェクトの独立と見通しは。

答 地方創生の趣旨は、プロジェクトによっては永年に交付金や役場の支援に頼らず自立して頂く姿である。現在、「ママカフェ」は完全に自立している。「山のみもと水さらら」は行政の手から離れているが、相談には関わっている。今後は役場と一緒に継続する、或いは町民の方で運営する場合は整理する必要がある。一番大切なことは、人がプロジェクトの目的に沿って継続できる組織やシステム作りが必要である。



池野駅駅舎改修後の霞溪舎